

確率論 (Probability) 第1週

w.yamamoto

due	9 avril 2015
cur	9 avril 2015
ver	1
rev	0

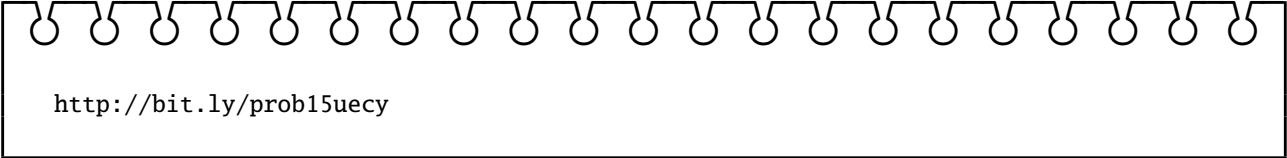
0 はじめに

0.1 参考にする書籍・資料など

この講義では「確率・統計解析の基礎」(朝倉書店, 2007)を参考書に指定している。そのまま講義する訳ではないので参考書としたが、原則としてこの本に沿って講義を進める。演習等をここから課すこともあるので、この本を利用できることを前提にするので、各自で調達しておくこと。

また「確率分布公式集」も計算問題の参考になる。

その他、教員が作成(して配布)する参考資料は



<http://bit.ly/prob15uecy>

の転送先にある Wiki のページを主な資料の配布先、連絡手段とする。上記 URL は、シラバスの「授業関連 Web ページ」と同じ URL へ辿り着く。

0.2 成績評価

出欠状況の確認は減多に行わない。確認を行っても、出席を加点に用い、欠席は減点とはしない。欠席が多い学生が、そのまま試験に出席しなかったり、期末試験を受験しなかったり、受験しても単位を取れない傾向が見受けられる。しかし、毎回の出席状況を成績評価の根拠のひとつにはしていない、ときつく指導されたので、この科目ではこのような扱いとする。

学期中に 3,4 回の小試験を実施する。これには講義時間内の前半の時間を用いる。日時は、講義の進捗を見て定めるが、2 週間前にはアナウンスするようにしたいと考えている。

期末試験も実施する。木曜については 4 限と 5 限それぞれ、別を実施する。

成績評価は、

小試験点数合計 (合計を 60 点満点に換算) + 期末試験点数 (60 点満点に換算)

して行う。60 点以下は不合格とし、100 点以上は秀とする予定である。

0.3 履修について

2 年生は月曜の 2 限か木曜の 4 限のいずれか、各自に割り当てられた時間帯で履修すること。他学科からの履修者は、1 回目は木曜 4 限、5 限、月曜 2 限のいずれでも構わない。あらゆる再履修学生は必ず、木曜 5 限(もしくは月曜 2 限)を履修すること。

再履修学生の 4 限の履修は、原則として認めない。必修科目の衝突のみ、例外的に考慮することがある。

また小試験、期末試験は履修した時間帯で受験すること。